

再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No. 2 - 2)

件名	エンドピース酸・水洗浄槽水圧ジャッキからの水の漏えい						
事象の概要	<p>(1) 発生場所・機器 前処理建屋: エンドピース酸・水洗浄槽</p> <p>(2) 発生の状況 エンドピース酸・水洗浄槽の運転中</p> <p>(3) 概要 エンドピース酸・水洗浄槽のバスケット駆動用水圧ジャッキで、水漏れを検知</p>						
事象による影響	<p>(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 前処理建屋換気設備が稼働しているセル内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響はない。</p> <p>(2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 水圧ジャッキの圧力の低下により漏えいを検知し、エンドピース酸・水洗浄槽の停止に伴い、必要に応じて上流のせん断機も停止するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 エンドピース酸・水洗浄槽の復旧作業は、セル外からの遠隔作業なので、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 上流、下流の工程の運転に影響が生じる。 エンドピース酸・水洗浄槽の停止に伴い、上流側のせん断機の運転に影響が生じる。さらに下流の分離建屋以降の工程は、前処理建屋と分離建屋の間にある一時的な貯留槽(計量後中間貯槽)の残液量で運転継続の可否を判断する。</p>						
対応の概要	<p>(1) せん断処理設備・溶解設備の運転を停止する。</p> <p>(2) 水圧ジャッキに関するフランジ部の締付を確認する。</p> <p>(3) ホースコネクション位置からの漏れを確認する。</p> <p>(4) 定められた保守作業手順により適切な保守を行い、定められた操作手順に従い運転を再開する。</p>						
公表区分	翌平日に公表(ホームページへ掲載)						
対応区分	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td style="width: 20%;">(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> <td style="width: 20%;">(c) 当該機器を停止して復旧</td> <td style="width: 20%;">(d) 当該設備を停止して復旧</td> <td style="width: 20%;">(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止	<p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <p style="text-align: center;">0以下 1 2 3 4 5 6 7</p> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない) 放射物質の外部放出 工場外への影響</p> <p>日本原燃による評価: レベル0以下 放射物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</p> <p>運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化</p>
(a) 運転継続しながら復旧	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止			

